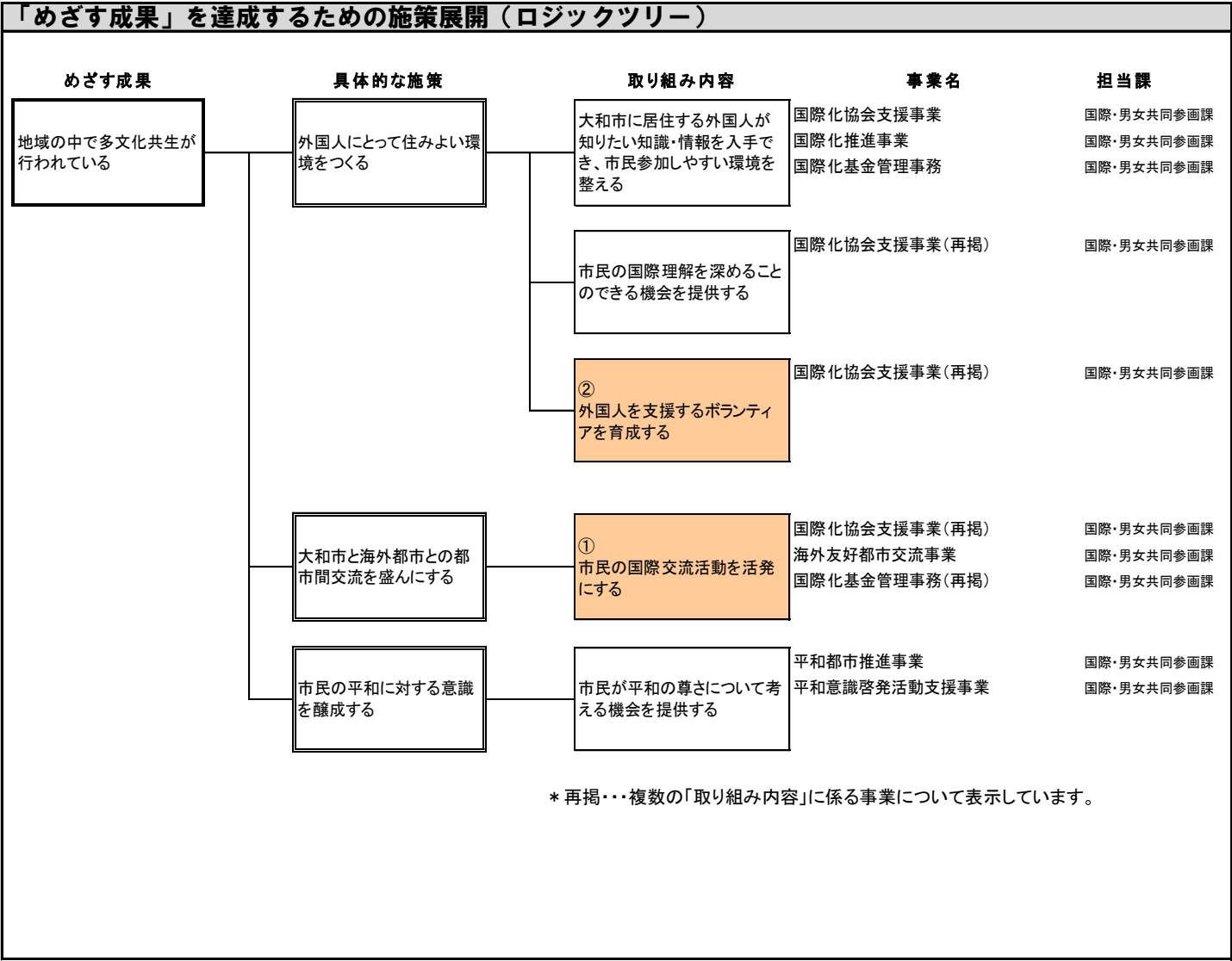


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-1-3 地域の中で多文化共生が行われている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる
	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている 大和市を来訪する外国人、大和市に居住する外国人と市民の間に活発な交流を通じた相互理解が進んでいます。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
国際交流が行われていると思う市民の割合		外国人を支援するボランティア登録者数	
計画策定時 現状値	18.7%	計画策定時 現状値	130人
実績値 (H24)		実績値 (H24)	245人
中間目標値 (H23)	20.0%	中間目標値 (H23)	150人
目標値 (H25)	25.0%	目標値 (H25)	200人

所 管 部		文化スポーツ部	
平成24年度までの取り組み内容		【外国人にとって住みよい環境をつくる】 ・大和市に居住する外国人が知りたい知識、情報を入手できる環境整備に努めるとともに、市民が国際理解を深めることのできる機会の提供として「やまと世界料理の屋台村」、「第3期多文化共生会議」などを開催し、多文化理解の場を提供しました。 ・緊急雇用創出臨時特別基金を利用し、多文化ソーシャルワーカーを継続して配置し、日本語・学習支援ボランティアのコーディネートや児童生徒への日本語指導を行いました。 ・（公財）大和市国際化協会に登録するボランティアによる市内小中学校に在籍する外国出身の児童生徒への日本語指導及び学習支援を行いました。 ・NPO法人かながわ難民定住援助協会との協働事業として「生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶつま読み書きの部屋」を実施し、外国人市民の生活日本語習得の支援を行いました。 【大和市と海外都市との都市間交流を盛んにする】 ・大韓民国光明市との交流事業においては、光明市立農楽団の招聘及び本市青少年（中学生、高校生）の派遣事業を行い、両市間の交流が深まりました。 【市民の平和に対する意識を醸成する】 ・平和都市推進事業実行委員会とともに、「戦没画学生慰霊美術館無言館」の上映など、平和意識啓発事業を行い、意識啓発に努めました。	
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）		・（公財）大和市国際化協会と連携して多文化共生を推進します。 ・第3期多文化共生会議とも連動しながら、災害時における外国人支援のしくみの構築を行い、外国人市民の地域参加を促します。 ・外国人市民に対し、多言語及びやさしい日本語での行政情報の提供に努め、情報の共有化を図ります。 ・大韓民国光明市の文化団体の招聘（平成27年度）に向けて、準備を進めます。 ・高齢化した戦時体験の語り部の活用に努めます。	
今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	・災害時における外国人支援体制整備促進事業として、災害に備えた外国人市民の支援体制を整えるためのネットワーク作りに着手します。	（該当する事務事業） 国際化推進事業	
既存事業の拡充	・第3期多文化共生会議を開催していますが、日本語教室、自治会、カトリック教会などに出向き、外国人市民の声を聴くフィールドワークを充実させます。	（該当する事務事業） 国際化推進事業	
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）	
事業の効率化	・光明市との友好交流事業については、交流分野の拡大に伴い、全庁的に取り組めるよう、調整窓口課と事業実施課が効率よく事業に当たれるよう、推進体制の整備に着手します。	（該当する事務事業） 海外友好都市交流事業	
その他見直し	・NPO法人かながわ難民定住援助協会との協働事業「つま読み書きの部屋」は4年目を迎えています が、事業実施に加えて、使用した教材を汎用性のある成果物としてまとめます。	（該当する事務事業） 国際化推進事業	